

II 調査結果の特徴

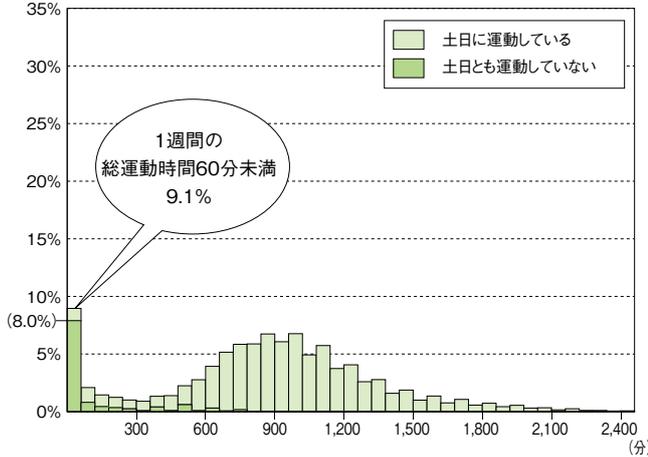
1. 生徒の運動習慣と体力～1週間の総運動時間から

1 1週間の総運動時間の分布と土曜日、日曜日の運動状況

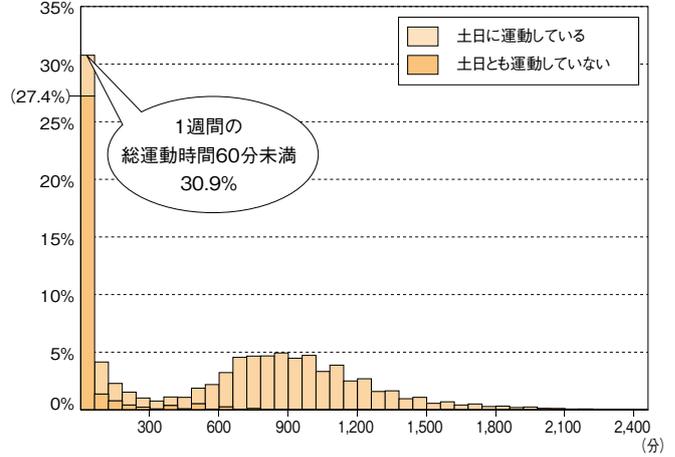
※「土日に運動している」は、土曜日、日曜日のいずれか、または両方で運動やスポーツをしている生徒の割合。

- ① 1週間の総運動時間の分布は、平成20、21、22年度調査と同様、明確な二極化がみられた。
- ② 特に、女子の1週間の総運動時間が60分未満の生徒は、30.9%であった。
- ③ 「土日とも運動していない」1週間の総運動時間が60分未満の生徒は、男子が8.0%、女子が27.4%であった。

● 男子



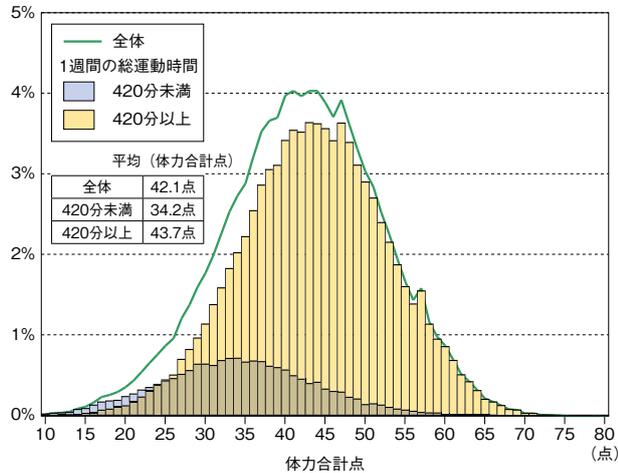
● 女子



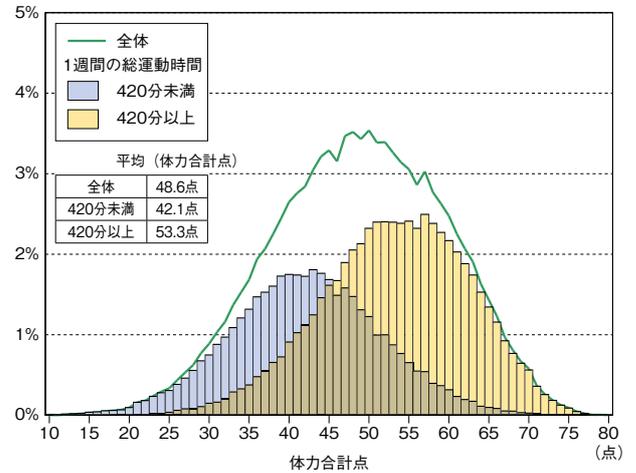
2 1週間の総運動時間と体力合計点との関連

- ① 男女とも、1週間の総運動時間が長い生徒の方が、体力合計点が高かった。

● 男子



● 女子

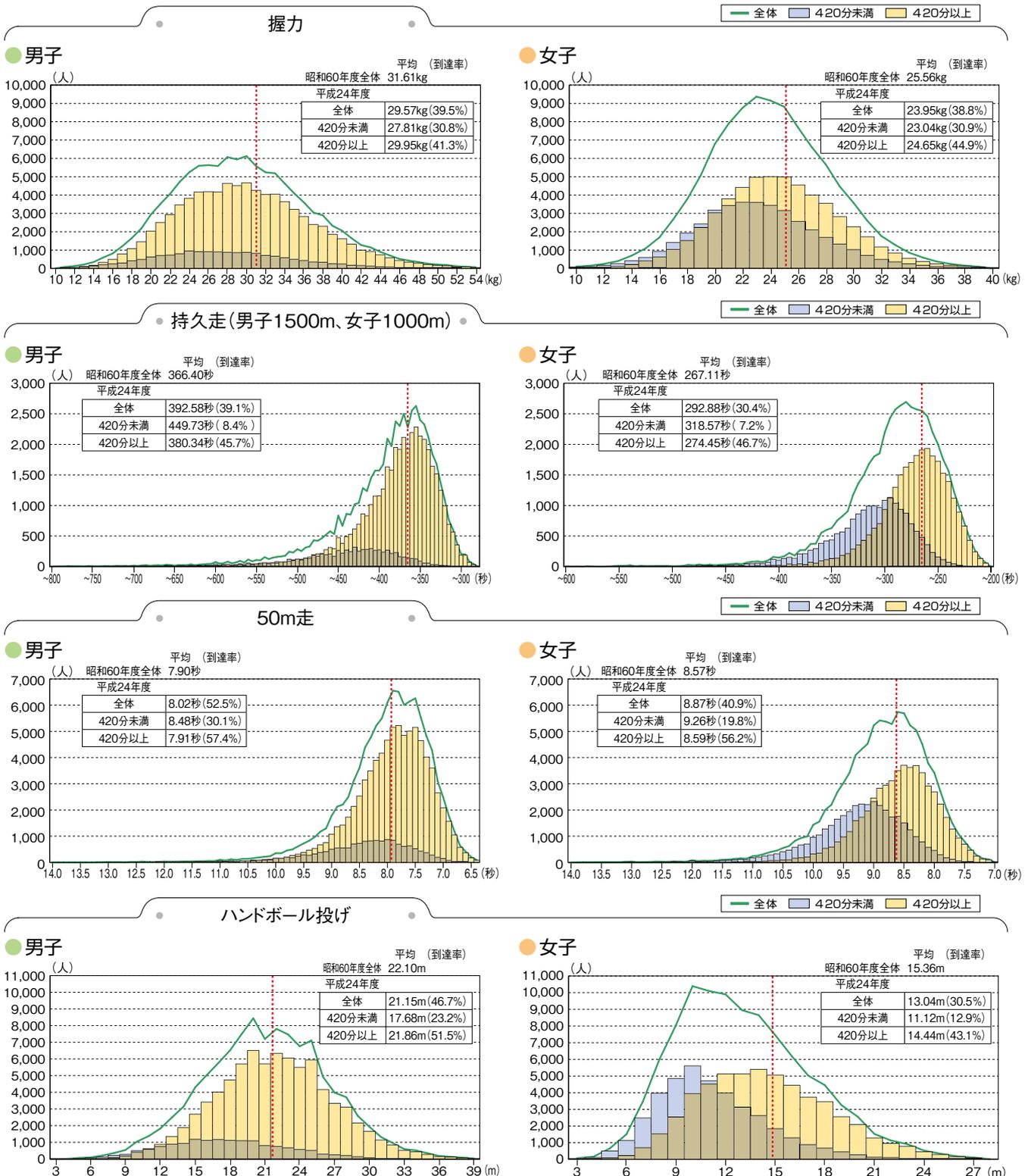


■ 1週間の総運動時間の算出方法

- ① 平日の運動時間：時間帯別運動時間【質問13】を合計
- ② 平日の運動日数：【質問6】の回答を次のように換算 (1=4日) (2=1.5日) (3=0.5日) (4=0.1日)
- ③ 平日の総運動時間：平日の運動時間①×平日の運動日数②
- ④ 土曜日の運動日数：【質問14-2】の回答を次のように換算 (1=0.25日) (2=0.5日) (3=0.75日) (4=1日)
- ⑤ 土曜日の総運動時間：土曜日の運動時間【質問14-3】×土曜日の運動日数④
- ⑥ 日曜日の運動日数：【質問15-2】の回答を次のように換算 (1=0.25日) (2=0.5日) (3=0.75日) (4=1日)
- ⑦ 日曜日の総運動時間：日曜日の運動時間【質問15-3】×日曜日の運動日数⑥
- ⑧ 1週間の総運動時間：平日の総運動時間③+土曜日の総運動時間⑤+日曜日の総運動時間⑦

- ①昭和60年度と比較可能な種目すべてにおいて、男女とも、1週間の総運動時間が420分以上の生徒は、420分未満の生徒に比べて、昭和60年度水準到達率（各種目の昭和60年度平均値に到達した生徒の割合）が高く、いずれも40%を上回った。
- ②特に、男女の50m走、男子のハンドボール投げは、1週間の総運動時間が420分以上の生徒の昭和60年度水準到達率が50%を上回った。
- ③一方、男女の持久走、女子の50m走とハンドボール投げは、1週間の総運動時間が420分未満の生徒の昭和60年度水準到達率が20%を下回り、特に持久走は男子が8.4%、女子が7.2%と低かった。

※グラフ中の縦の点線は昭和60年度の平均値、表中の到達率は昭和60年度水準到達率。



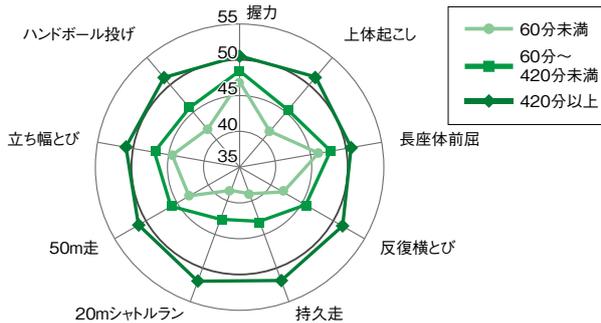
2. 運動時間の少ない生徒の特徴

※生徒のT得点(8ページ参照)や運動に対する意識等の回答の割合を1週間の総運動時間「60分未満」「60分以上420分未満」「420分以上」別に示し、それぞれを比較した。

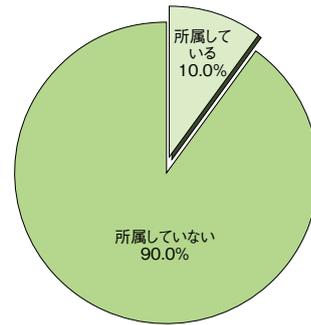
1 1週間の総運動時間が60分未満の男子の特徴

- ① T得点は、すべての種目で低く、握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部や地域スポーツクラブの所属率は、10.0%であった。
- ③ 「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が11.6%であった。
- ④ 「運動やスポーツは体力を向上するために大切だと思う」が41.5%、「食事や睡眠時間の状況は体力の向上につながっていると思う」が27.1%であった。
- ⑤ 土曜日、日曜日のいずれか、または両方で運動やスポーツをしている生徒は11.9%であった。

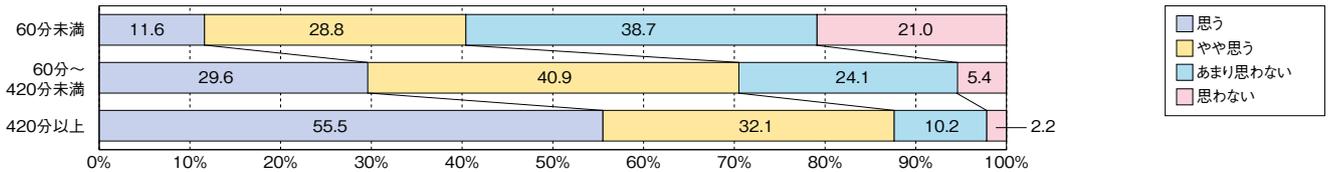
① 種目別T得点比較



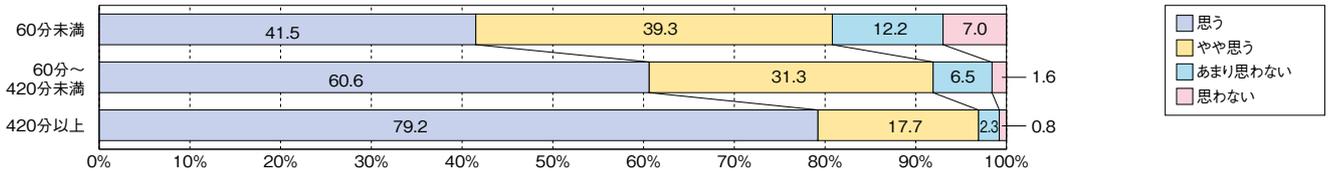
② 運動部や地域スポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の生徒)



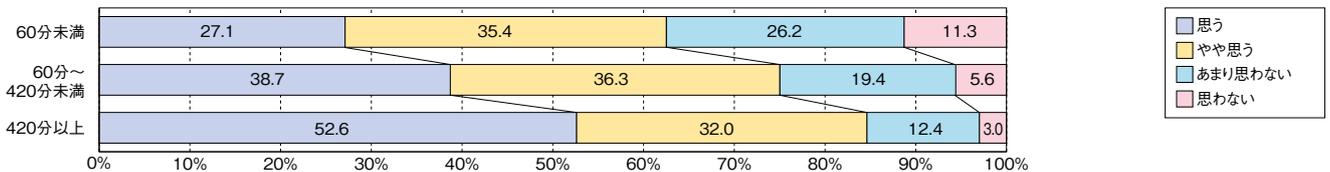
③ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



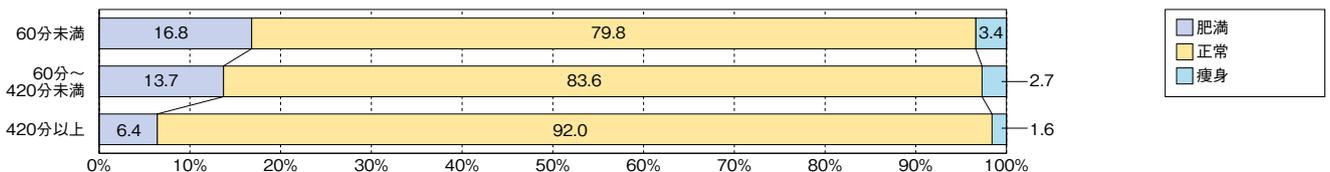
④ 運動やスポーツは体力を向上するために大切だと思う



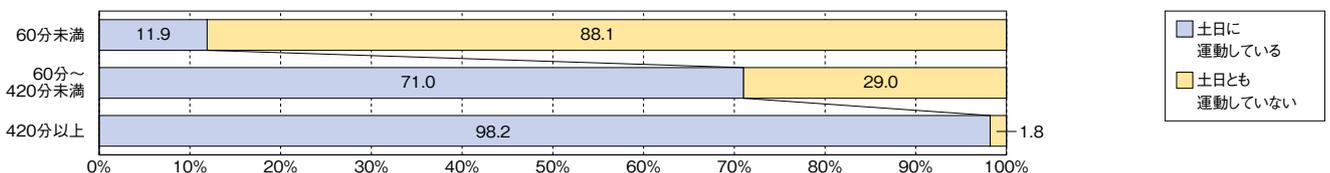
⑤ 食事や睡眠時間の状況は体力の向上につながっていると思う



⑥ 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率



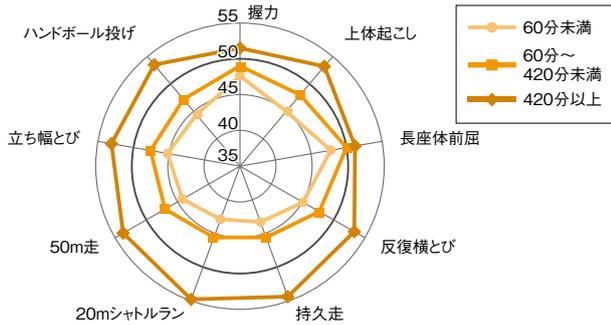
⑦ 土曜日、日曜日の運動状況



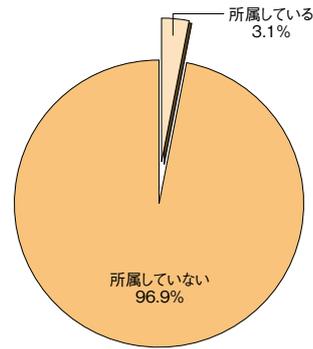
2 | 1週間の総運動時間が60分未満の女子の特徴

- ① T得点は、すべての種目で低く、握力、長座体前屈以外では大きな差がみられた。
- ② 運動部や地域スポーツクラブの所属率は、3.1%であった。
- ③ 「運動やスポーツをもっとしたいと思う」が11.5%であった。
- ④ 「運動やスポーツは体力を向上するために大切だと思う」が44.0%、「食事や睡眠時間の状況は体力の向上につながっていると思う」が27.9%であった。
- ⑤ 土曜日、日曜日のいずれか、または両方で運動やスポーツをしている生徒は11.5%であった。

① 種目別T得点比較

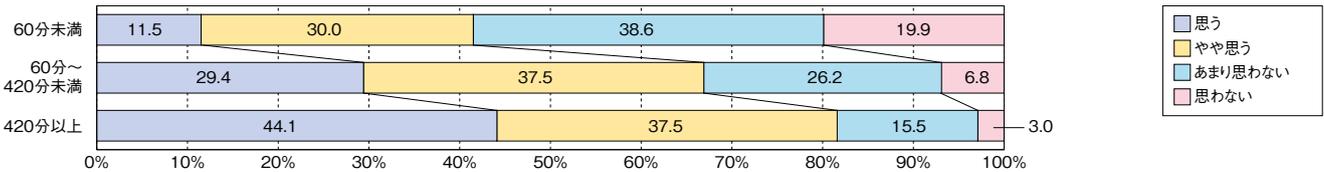


② 運動部や地域スポーツクラブの所属状況 (1週間の総運動時間が60分未満の生徒)

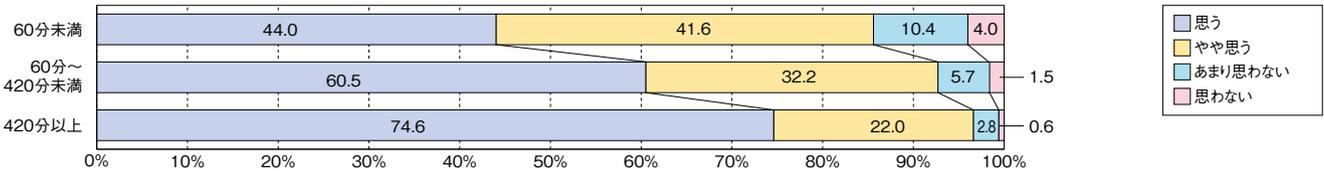


中学校

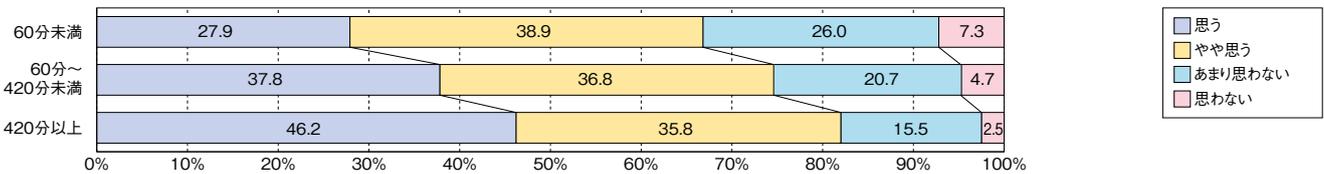
③ 運動やスポーツをもっとしたいと思う



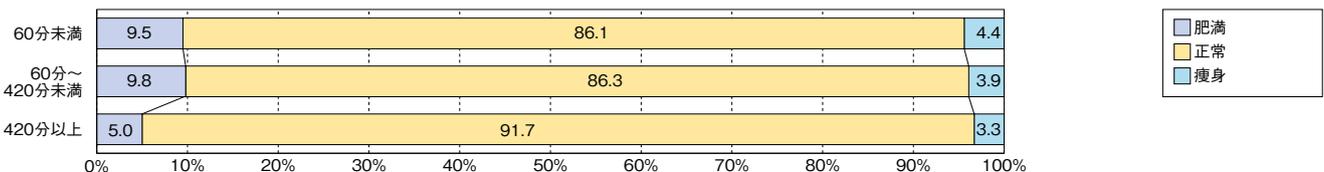
④ 運動やスポーツは体力を向上するために大切だと思う



⑤ 食事や睡眠時間の状況は体力の向上につながっていると思う



⑥ 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率



⑦ 土曜日、日曜日の運動状況

